

溝小だよ！

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.364

2023.12.26

発行：校長 小林 聡

学校教育目標： ふるさとだいすき かしく つよく やさしく
～つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校～

おかげ様で いい2学期になりました

「手が体の脇にある友だちの動きを見てまねをしてなわとびが34回跳べるようになりました」（1年生）「学級で立てた目標『みんなで話し合いをがんばって楽しい授業にしよう』に向かって発表し合って、算数の授業が楽しくなりました」（3年生）「見通しをもって行動する力、根気強くなれる力がつきました」（5年生）代表の子が成長した自分や自分たちをふり取り、ともに喜び、讃え合える終業式になりました。

◇本を読むこと、運動すること、学ぶことが大好きで、みんなで伸びている1年生

「困っている」と言えることがすばらしいし、仲間が本気で助けてくれるから安心して努力できている

◇去年の2年生を手本にして、一層良きお兄さんお姉さんになった2年生

「お手紙」の劇、1・2年生合同のおもちャランド、おでんパーティーを全員の力でやりとげた

◇仲が良くなって自分達だけでできることが増え、グンと成長した3年生

オーガニック野菜づくりを通して自分の変化を実感し、みんなで一つのことに向かえるようになった

◇ふり返りを大事にし、チーム力が一段と高まった4年生

相撲、ソフトバレー、学級会等、常にみんなでチャレンジ&丁寧なふり返っているからぐんぐん高まる

◇前向き姿勢で最高学年への準備をはじめた5年生

マウスからプラス思考へ、衽タイプ「できない、無理」からポジティブ言葉「やってみよう、大丈夫！」へ

◇自分達で考え、話し合い 実行した6年生

溝小チャレンジ大成功後、色々な人と仲良くなることを目指し、ミ・チャレンジ・縦割り給食・縦割り勉強を企画。

卒業までの3か月も「つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校」実現に向け、力を尽くしてほしい

各学年の良さや成長したところに加えて、その陰で支えてくれた人の顔、声、行動を思い起こしてほしいと伝えました。おかげ様（お陰様）の心で。励ましてくれたり、相談に乗ってくれたり、一緒にやってくれたり、喜んでくれたり…支えてくれた人が必ずいたはず。陰にいる人は自分からは現れないものだから、見ようとしなければ見えないし、気づこうとしなければ気づけないものだと思います。

おかげ様でいい2学期になりました。支えてくださったすべての方々のおかげと心より感謝いたします。

人の生き方に学び 自分の生き方を見つめる

第6回授業研究会 5学年 国語 ～伝記を読み 自分の生き方を考え「おすすめ偉人集」を作ろう～

教科書「やなせたかしーアンパンマンの勇気」を基に、いろいろな伝記を読みながら生き方について考える学習です。「アンパンマンが自分の顔を与えて人を助ける理由」や「やなせさんの生い立ちや人生経験」について理解を深め、感銘を受けた言葉や生き方を見つめるきっかけになった文章を大事にした学びがたくさん見られました。担任の阿部まな美教諭は、子ども達が仲間と考えを交流することを通して新たなことに気づいたり、自分の見方、考え方を深めたりできるよう、学習カードやタブレット活用、掲示物等にも工夫を凝らしました。

学習はいつも子どものものです。本校の教諭は常に目の前の子どもを深く理解し、子どもに合った単元構成

や学習方法を模索しています。子どもと教材を深く理解すればするほど難しさを感じますが、それは私たちにとって一番のやりがいであり、子どもの学ぶ姿の変化が一番の喜びです。これからも様々な角度から教材を見つめ、目の前の子どもたちのために、楽しみながら授業づくりをしたいと思っています。



本校ホームページへ
こちらからどうぞ

